

令和5年度末までの離島振興計画の進捗状況【社鹿諸島地域振興計画】

	施策の内容	石巻市進捗状況	女川町進捗状況
交通・通信体系	【離島航路】		
	・浮桟橋や待合所等の周辺環境整備を推進	・離島航路利用者が安全に待ちやすい環境を確保できるよう努める。	・女川港に離島航路ターミナルを整備済み。
	・地域の実情に即した運行体系の確立	・島民や観光客の生活を支える重要な基盤として、1日あたり15回運航した。	・出島架橋に伴う航路再編について、国・県と協議中。
	・経営の効率化	・航路維持に係る経費等の削減に努めるよう、運航路事業者に指導を行った。	・離島航路改善計画を策定し、経営改善に努めている。
	・島民を対象とした旅客運賃割引の継続	・平成24年度から島民を対象とした旅客運賃割引を継続して行っている。	・継続している。
	・島民を対象とした自動車航送料の割引制度を導入	・令和5年度から島民を対象とした自動車航送料の割引を行っている。	・廃車に係る運搬費用は補助している。
	【道路・網地島】		
	・幹線道路の維持管理	・市道については、路面状況等に応じて修繕・草刈り等を実施。	(石巻市)
	・市民バスの維持及び運行体制の整備	・バス運業者と連携し市民バスの運行を実施。	(石巻市)
	【道路・出島】		
・県道出島線の整備		(女川町)	
・幹線道路の維持管理と快適な交通環境の確保		(女川町)	
【情報化の推進】			
・電気通信事業者による情報通信基盤の拡充及び情報通信サービスの高度化の促進	・電気通信事業者に対する働きかけを行い、実現に向け今後検討予定。	・携帯電話の通信網が整備済、拡充予定なし。	
・ICTの活用を通じたデジタル化の推進	・電気通信事業者に対する働きかけを行い、実現に向け今後検討予定。	・どのような活用が可能かまた需要があるのか検討していく。	
【通信環境】			
・通常電話回線、携帯電話、衛星電話、衛星データ通信、防災広報無線、テレビ受信環境の維持及び環境整備	・電気通信事業者に対する働きかけを行い、実現に向け今後検討予定。 ・防災行政無線（屋外拡声子局、個別受信機）や防災ラジオにより、迅速な避難行動を促している。今後の通信手段については、防災行政無線整備基本計画策定の中で検討する。	・出島・寺間・江島集会所に衛星携帯電話配備済、防災広報無線も離島に設置済み。	
産業振興・就業	【水産業】		
	・関係機関との連携強化等の密漁防止対策	・密漁行為の防止のために、関係機関との連携を図り、安全で安心な漁場環境を維持している。	・離島支部と連携し密漁防止対策事業を実施中。
	・漁場機能の向上及び良好な漁場環境の維持		・離島青年部と連携し漁場形成事業を実施した。
	・海岸保全施設及び漁業施設と併せた周辺環境の整備		・漁業用地の整備及び漁港の利便性を図るための岸壁等の整備を随時実施している。
	【担い手対策】		
	・各種研修会等への積極的参加	・各種研修会等の立案に向けて、今後検討予定。	
	・新しい漁業研究活動を奨励するなど、担い手の育成	・新しい漁業研究活動の立案に向けて、今後検討予定。 ・離島（網地島、田代島）は農業振興地域に指定しておらず、産業となるための生産基盤等が整っていないことや輸送コストがかかるという地理的な制約があり、自家消費程度の生産となっている。	・離島支部員の研修会等の参加への支援を実施中。
【第二次・第三次産業】			
・地域性のある特産品の開発を促進	・地域性のある特産品の開発に向けて、今後検討予定。 ・（一社）石巻圏観光推進機構において、田代島や金華山をテーマにしたツアーを企画し、実証ツアー等を実施している。 ・田代島のマンガアイランドを活用し、宿泊や自転車等の利用者の受付に努めている。 ・日本遺産「みちのくGOLD浪漫」の取組に「金華山詣」の文化及び「金華山道」が追加され、周知PRに努めている。	・出島も含めた町内全域での創業等への支援制度を令和6年度中早期に実施予定。店舗の新規立地の促進による島内産業の活性化を図る。	
・流通の合理化、共同出荷、ブランド化等を通じたコストダウンや高付加価値化	・流通の合理化、共同出荷、ブランド化等を通じたコストダウンや高付加価値化を図る案を模索中。		
・各種制度を活用したツーリズム関連産業（宿泊業、飲食店等）の集積	・通年で市のHP、市報等で石巻市創業支援補助金の活用について周知を行っている。		
生活環境整備	【住環境・出島、江島】		
	・より良い住環境整備	(女川町)	・江島については、住民の減少に伴い、空家や原野が目立ってきているが、これまでの害虫駆除を継続しながら、生活環境の維持向上を図っている。 ・町道の適切な維持管理に努めている。 ・出島架橋が、令和6年度中に完成予定。
	【上水道・出島、江島】		
	・人口予測、水需要予測を行い、給水エリアを選定し浄水方式の選定、構造形式の選定	(女川町)	・復興計画に合わせた水道施設を整備済み。
	・基幹管路の耐震化の整備	(女川町)	・老朽管の布設替計画に基づき、順次更新。
	【上水道・網地島、田代島】		
	・浄水施設の計画的な整備や付帯設備の改修	・施設の不具合・故障時に改修を行っている。	(石巻市)
	・海底送水管の漏水防止や適正な維持	・管路の不具合・故障時に改修を行っている。	(石巻市)
	【し尿・ごみの処理】		
	・本土への搬送処理体制の効率化	・引き続き、効率的なし尿・ごみ処理体制の構築に向け検討を行い、ごみ減量化・再資源化を推進していく。	【し尿の処理】 ・出島は、架橋開通後、本土と同様の汲み取り体制・料金となる。 【ごみの処理】 ・本土への搬送処理体制の効率化について、出島及び江島は船舶での搬送に努めた。出島については、出島架橋の開通後、本土からごみ収集車での運搬となり、江島は、船舶での搬送を今後も継続して行う。 ・ごみの減量化・再資源化等について、町広報紙等により周知に努めているが、今後も継続して行う。
・ごみの減量化・再資源化及び再利用の推進			
【空き家対策】			
・適切な管理や改修等の促進	・年4回開催される空き家無料相談会を案内しつつ売却または解体について相談対応している。	・空き家改修に係る一部費用の補助等を実施している。	
・空き家バンクへの登録を推進	・離島物件を取り扱っている不動産事業者が限られているため登録物件なし。	・継続している。	
【地域コミュニティ】			
・離島開発総合センター等を有効活用し、各種研修会、講習会等の開催を推進	・島民が気軽に集える場となるように、施設の有効活用を努める。	・人材育成に係る補助制度を町独自で行っている。	

令和5年度末までの離島振興計画の進捗状況【社鹿諸島地域振興計画】

	施策の内容	石巻市進捗状況	女川町進捗状況	
医療確保	・関係行政機関やへき地医療拠点病院等と連携した医療従事者の確保 ・医療法人の運営に対する支援の継続 ・訪問診療等のサービス及び遠隔医療を含めたICTを視野に入れた医療環境の整備を促進	・田代島では市診療所を開設、網地島では開設している民間医療機関への運営費補助を継続して行っている。	・女川町地域医療センターが出島・江島の集会所において、月1回巡回診療を実施している。	
	【救急医療体制】 ・高速定期船等の地元船舶の対応を実施 ・消防機関等本土側の関係機関との連携 ・防災ヘリコプター等を活用した搬送体制の環境整備	・救急医療体制についても地元船舶での搬送等を継続して行っている。	・地元船舶により対応している。 ・非常時に衛星携帯電話を配備している。 ・ヘリポート場所確保済み。	
	【網地島】 ・デイサービスセンターと高齢者生活福祉センターの運営の指定管理者の指定継続 ・同施設の環境整備推進	・施設の指定管理者と協議を行い、施設の管理運営の委託を継続している。 ・同施設の環境整備については、指定管理者と協議を行い、計画的に修繕を行っている。	(石巻市)	
	・石巻市離島介護対策事業の継続	・介護サービス事業者等に対し、介護サービス又は地域支援事業（はつらつ元気教室、実態調査）を実施した場合に補助金（上限5万円/月）の交付を継続する。	(石巻市)	
	【田代島】 ・石巻市離島介護対策事業の継続	・介護サービス事業者等に対し、介護サービス又は地域支援事業（はつらつ元気教室、実態調査）を実施した場合に補助金（上限5万円/月）の交付を継続する。	(石巻市)	
	・田代島開発総合センターのバリアフリー化推進	・高齢者が安心して施設を利用できるよう、バリアフリー化推進に努める。	(石巻市)	
	・離島開発総合センター等を利用した生涯スポーツの定着	・施設を活用したスポーツ活動の実施に向けて今後検討予定。	(石巻市)	
	【出島、江島】 ・介護予防事業による健康づくりの推進 ・介護保険サービスより、介護予防を中心とした施策展開	(女川町) (女川町)	・出島地区において、健康チェックや軽体操等を行う一般介護予防事業を継続して実施している。	
	教育・文化	【学校教育】 ・学校・家庭・地域・行政の四者の緊密な連携による、本土への通学の利便性向上	・スクールボートを運航し、本土へ通学する児童の支援を継続している。	・架橋開通後のスクールバスの運行について検討中。
		【生涯学習】 ・離島開発総合センターや既存の社会教育施設の有効活用	・社会教育施設「島の楽校」について、網地島の魅力発信のため運営を継続していく。	・検討中。
【生涯学習・出島、江島】 ・社会教育施設に代わる代替施設の確保		(女川町)	・検討中。	
【文化振興】 ・自然や文化に触れ親しむ環境整備		・網地島の木造聖観音立像、田代島の斗田貝塚が県の文化財として指定を受けていることから、今後もその保存に取り組む。	・地域住民の協力による環境整備実施予定である。	
・文化の保護と後継者育成			・補助金交付による後継者育成を支援している。 ・児童・生徒による伝承活動の推進している。	
観光の開発		・各種アウトドア型の体験プログラムの開発を促進	・（一社）石巻圏観光推進機構等において体験プログラムを含むツアーを企画・検討中である。	・R5中にモニターツアー実施により抽出した課題解決に向けて継続検討中。 ・住民生活への影響から大々的な促進は実施せず。 ・地域おこし協力隊において同様の取り組みに着手しており、協力連携中。
		・ブルーツーリズムを活用したコミュニティ・ビジネスの創出の検討	・田代島については、担い手不足や震災時の砂浜消失等の課題があり、ブルーツーリズムに係る体制構築には引き続き検討を要する。	・可能性についての検討を離島振興協議会等にて実施。 ・明確な担い手がないことから具体的な検討には至っていない。
		【網地島】 ・網地白浜海水浴場について、公衆トイレ等の観光施設の整備及び維持管理 ・自然と共生し、景観と調和した観光地域づくりの推進	・市で網地白浜海水浴場に公衆トイレを整備し、海水浴期間中に開放し維持管理を実施。	(石巻市)
		【田代島】 ・マンガアイランドについては、更なる利便性の向上を図るため、指定管理者制度の導入の検討 ・野外活動に配慮した食材の供給体制等の環境整備の検討	・マンガアイランドの指定管理制度導入にあたり、条例改正や施設改修などの課題があり、施設の運営・管理の在り方について検討を重ねている。	(石巻市)
		・本土や隣接する網地島の宿泊施設と連携した対応の検討 ・多様な切り口から島内の観光資源の活用	・野外活動の実施や食材の供給体制、他の離島との連携については、担い手不足の課題があり、引き続き検討を要する。	(石巻市)
	【出島、江島】 ・駐車場やトイレなど、施設整備の検討	(女川町)	・R6中にトイレ、誘導標識について行政にて整備予定。 ・その他の休憩所等については民間にて整備を進めたい要望もあるため、行政単独での整備は一旦見送り、協議を進め官民協働での整備に向けて検討を継続する。	
	・既存の観光コンテンツの環境整備	(女川町)	・漁港を中心とした釣り、景観にスポットをあて、ルールブック、マップの作成について検討中。	
	国内外との交流	【網地島、田代島】 ・離島開発総合センター等を活用しながら、自然環境や水産資源を生かしたツーリズムと、交流プログラムの開発を推進	・離島開発総合センター等を活用しながら、自然環境や水産資源を生かしたツーリズムの実施について検討していく。 ・島民の知識や経験を活かせる交流プログラムの開発について検討していく。	(石巻市)
		【網地島】 ・各種事業の実施を通じて、島民と島外との交流の促進	・各種事業の実施を通じた交流はないが、島民と島外との交流が図られるように検討していく。	(石巻市)
		【田代島】 ・マンガアイランドを拠点施設と位置付け、野外活動に配慮した食材の供給体制等の環境整備の検討	・マンガアイランドにおいては採算性や保管の課題もあり、食材の供給体制構築には引き続き検討を要する。	(石巻市)
・国内外からの取材・撮影等を活用した、観光客誘致や交流人口拡大		・国内外で様々なメディアに田代島が取り上げられたことから、邦人・外国人問わず観光客が訪れ、令和5年は観光客入込数が前年から約7,700人増となっている。また、マンガアイランドのスタッフとして本土から来島する方や、施設のリピーターが複数回島外から訪れており、交流人口も拡大している。	(石巻市)	

令和5年度末までの離島振興計画の進捗状況〔社鹿諸島地域振興計画〕

	施策の内容	石巻市進捗状況	女川町進捗状況
自然環境・エネルギー対策・防災対策	【出島、江島】		
	・島の魅力の発信や更なる交流人口の増加	(女川町)	・振興協議会の立上げ検討など、交流人口増加策等について、協議を行っている。
	・受入協力の中心となる人材や団体等の育成	(女川町)	・人材育成補助金等による支援を行っている。
	・海岸保全施設等の整備の推進	・防災行政無線については、屋外拡声子局などについて維持管理を行っている。機能向上等については、防災行政無線整備基本計画策定の中で検討する予定としている。	・海岸保全施設整備の要望なし。
	・必要に応じた急傾斜地崩壊対策事業の実施	・災害用備蓄品の管理等については、田代島開発総合センター、網地島開発総合センター等に食料・水等の災害用備蓄品を配備しており、今後も定期的な更新を検討している。	・漁港施設の適切な維持管理に努めている。
	・島内道路整備や避難誘導看板等の設置検討	・防災ヘリポートの維持管理については、草刈り等を定期的に実施しており、航空自衛隊松島基地等の機関が定期的に訓練で利用している。	・急傾斜地崩壊対策事業については、今現在不要。避難誘導看板設置済み。
	【防災・減災対策等】	・その他の防災対策については、宮城県離島振興計画を確認しながら検討を行っている。	・デジタル防災広報無線を整備している。
	・防災行政無線の維持及び機能向上		・令和5年度に備蓄食料品を更新済み。
	・災害用備蓄品の管理と計画的な更新		・出島、江島にヘリポート場所を確保済み。
	・防災ヘリポートの維持・管理、利活用		・ヘリポート、船舶避難ができる。
	・島民が島外へ避難できる環境整備の検討		・消防格納庫、消防車両配備。
	【消防防災体制】		・継続的に女性団員や青年層を消防活動へ参画するよう努めていく。
	・消防施設や消防車両の更新整備		
	・広域消防等と連携を密にし、女性や青年層の消防団活動への参加や火災予防業務等の積極的な推進		
	【自然環境】		
・自然環境調査の継続実施	・自然環境や希少な植物の植生等についてを正確に把握するため、毎年、離島を含む市内全域から	・海域水質等調査を継続。	
・生態系や山林、海の保護・保全の活動の推進			
【再生可能エネルギーの導入】			
・各種補助制度の活用による島内普及	・再生可能エネルギーの利用を促進することにより、二酸化炭素の排出を抑制し、地球温暖化の防止に資することを目的に、太陽光発電システム、定置用蓄電池（蓄電システム）、エネルギー管理システム（HEMS）を設置した方に対し、補助金を交付する。	・太陽光発電システム設置補助事業について、今後も広報紙、ホームページで周知を図り、普及に繋げていく。	
【網地島、田代島】			
・プロパンガスの輸送に対する支援	・令和3年度からプロパンガス運搬に要する輸送費の補助金を交付している。	(石巻市)	
人材確保・育成	・大学や各種団体、地域おこし協力隊の活用、県内の他の離島との連携	・令和5年8月から網地島のお試し移住体験施設に地域おこし協力隊員を1名配置し、当該施設の管理運営やSNS等を活用して島の魅力を発信している。	・地域おこし協力隊による島おこし等を行っている。
	・島にゆかりのある人を中心とした受入・支援		・島内で活動している法人等が地域おこし協力隊の受入先となっている。
	・ICTを利用した情報発信		・現在は、ICTを活用した情報発信はできていない。
	【出島、江島】	(女川町)	・宮城県離島振興協議会事業を活用したアイランド一等の参加を継続している。
	・ボランティア等との繋がりや宮城県離島振興協議会事業を活用した勉強会や各種事業の継続	(女川町)	・交流人口増加策と併せた検討を行っている。
・島内住民と島外避難者との心を繋ぐ活動や交流人口増加策の検討	(女川町)	・人材育成補助金等による支援を行っている。	
・人材や団体等の育成による交流人口の増加や定住促進			
感染症発生時等の配慮	・感染拡大防止策や医療体制の整備強化	・感染症時についても、島内の市診療所等にて必要な医療を提供できる体制を今後も継続して確保していく。	・感染症患者が発生した場合の搬送体制について今後検討予定。
	・必要な医療提供体制等の確保		
小規模離島への配慮	・島民が日常生活を営むために必要な環境維持等への十分な配慮	・プロパンガス運搬に要する運搬費の補助など、島民が安定した日常生活を営めるための環境維持に引き続き努める。	・日常生活に支障がないよう、離島航路はじめ、維持に努める。